



田子の浦港活性化事業

戦略5 施策24

富士山を活かした誘客の推進と観光資源の活用

背景・課題・目的

- ▶ 南海トラフ巨大地震を想定した最大クラスの津波から市民・企業の生命、財産を守り、地域経済への甚大な被害を防ぐための防災対策と、富士山に一番近い港である田子の浦港を活用したにぎわいづくりを推進し、安全で魅力的な港を目指しております。
- ▶ 田子の浦港ならではの景観資源である「富士山」と「駿河湾」の眺望を にぎわいづくりに活用し、田子の浦港漁協食堂からふじのくに田子の浦みなと公園までの地域資源が集中するエリアを「プロムナードエリア」と位置付け、様々な取組を展開しております。
- ▶ 現在は、にぎわいづくりについて皆様からの寄附を募集しております。



事業内容・目標

- ▶ にぎわい拠点機能の強化
(田子の浦港漁協食堂、ふじのくに田子の浦みなと公園)
- ▶ 漁網倉庫の移転により創出した新たなにぎわい空間の整備
- ▶ 歩行空間の整備
- ▶ にぎわい空間、歩行空間の整備は令和8年度末の完了を目標としております。

事業担当課
 産業政策課
 電話 0545-55-2816